

Mokutaidaikyo

木耐協

マンスリーレポート

2025.2
vol.
314



特集

第27回 木耐協 全国大会

誌上報告レポート

今号の表紙

第27回木耐協全国大会を、1月9日(木)に富士ソフアキバプラザアキバホール(秋葉原)で開催いたしました。今年も全国から多くの組合員様にご参加いただいた熱気溢れる当日の様子を特集します。





開会挨拶

木耐協 理事長 小野秀男

私は阪神・淡路大震災当時、建築会社に勤めており、社命を受けて被災地を訪れました。倒壊した住宅街で「全員無事」と書かれた家に安堵する一方、多くの犠牲者を忍ぶ光景に胸を打たれました。二度と同じ悲劇を繰り返したくないという想いが木耐協発足の原点です。首都直下地震や南海トラフ地震の懸念が高まる中、耐震化は家族を守る家長と我々事業者の責任です。今年も皆様と共に耐震社会構築に取り組んで参りましょう。



2025年1月9日(木)
アキバホールで開催

27回目を迎えた木耐協全国大会。今年、会場を秋葉原へ移し、全国から約200名の方にご来場いただきました。

特集 第27回 木耐協 全国大会 誌上報告レポート



永年功労賞の授与式を行いました!



▲功労者を代表してご挨拶いただいた(株)アットホーム四国代表取締役 北村 憲司様

<対象組合員>

- アートリフォーム / 朝日住宅センター / 朝日リビング 一級建築士事務所 / アットホーム四国 / アド・リビング / 今田工務店 / 内山ホーム / 美し信州建設 / ecomo / エスワイシー / エム建設 一級建築士事務所 / 小川工業 / 加藤工務店 / クラフト / ケイスタイルプランニング / コダマサイエンス / サンコー建築店 / システムショップ萩原 / 湘栄技工 / スウェーデンハウスリフォーム / 杉野建設工業 / 瀬戸建設 / 添田建設 / 高田建築事務所 / デグチホームズ / 東京ガスリノベーション / 日昇ホーム / ビーテック / ヒノキヤグループリフォームカンパニー / 北新建設 / 三澤屋建設 / 宮尾建設 / 山喜工業 / 山崎建設 / 吉澤工務店 / ライフタケダ

祝辞(代読)

国土交通大臣より
ご祝辞を
いただきました

国土交通省 大臣官房審議官
宿本尚吾様



中野洋昌国土交通大臣の祝辞を、国土交通省の宿本審議官が代読してくださいました。令和6年度補正予算による補助限度額の引き上げや高齢者向け耐震化融資の無利子化などの概要、2030年までの耐震性不足住宅の解消目標や2050年のカーボンニュートラル実現に向けた省エネ政策を解説されました。さらに、組合の耐震化への貢献を高く評価くださり、今後の更なる発展を祈念していただきました。

第27回木耐協全国大会はアキバホールにて開催。当日は中野洋昌国土交通大臣よりご祝辞を賜りました。今回は、能登半島地震から1年、阪神・淡路大震災から30年という節目を迎え、それぞれについて幅広い分野から講師をお招きしました。東京大学大学院の関谷直也教授には「災害と心理」に関する最新の知見を共有していただき、西垣淳子氏には能登半島の景観保全についてお話しいただきました。また、安田大サーカスの団長安田氏からは、阪神・淡路大震災の経験を通じ、時に会場を笑いで和ませながら、避難生活の実情や震災の教訓について真摯に語っていただきました。

(文：伊藤健三)

理事長の力強い挨拶で幕を開けた全国大会





元石川県副知事 **西垣淳子様**

黒瓦のある能登の景色

「能登半島地震を通じて、私有財産に公的支援ができないジレンマを実感しました」と語る西垣氏。能登の黒瓦の街並みを守るには、現行の支援制度では困難で、「壊さないと助成されない」被災者支援法の課題を指摘。街並みを守るためには地震で壊れない耐震化支援が必要と強調しました。また、自治体が保有するデータを活用すれば、リスクの見える化や事前防災の強化が可能と提言。講演後の質問に対して丁寧に応じてくださる姿が印象的でした。

東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター 教授 **関谷直也様**

災害と心理

「災害時における心理的行動を知ることは、防災対策の質を高めるために非常に重要です。」と語る関谷氏は、関東大震災や東日本大震災などの調査を基に、「正常化の偏見」が防災意識の妨げになることを指摘しました。具体例として、雲仙普賢岳の火砕流で報道関係者が危険を過小評価して43人が犠牲となった事例を挙げ、危険を「自分事」として捉える重要性を強調。「災害時の心理を理解し備えることで多くの命を守れる。」とのメッセージに、参加者は深く頷いていました。



安田大サーカス **団长安田様**

ピンチをチャンスに

阪神・淡路大震災の2日前に共に成人式に参加した親友を失い、自身も被災者として避難生活を経験した団长安田氏。「人の死には2つある。一つは生物的な死、もう一つは記憶から消えること」というお坊さんの言葉に心を動かされ、親友の存在を伝え続けることを使命として講演活動に取り組まれています。スクリーンに大きく写し出された当時の新聞に掲載されたご自身の写真を前に、報道されない避難生活の現実や長期避難が人々に与える影響を語りつつ、時折お笑いの要素も織り交ぜた軽妙な語り口で参加者の心を掴みました。質疑応答では多彩な質問にユーモアあふれる回答が続き、会場は笑いの渦に包まれました。「震災から30年経っても、悲しみは消えません。私のような素人は、皆さんを信じるしかありません。地震が来ても倒れない住宅を作り続けてください」と熱いエールを送っていただきました。



講演会 使命感をもったお話に心を打たれました

賀詞交歓会 なごやかに親睦を深めました



「挨拶したかった」
中島康成様
（公益）住宅金融支援機構理事



「乾杯のご発声をいただいた」
支援センター理事長
淡野博久様

参加者の声 日本全国からの参加者の皆様

団长安田の言葉にあったように被害にあった方々は一生忘れる事はありません。しかし、私たちは報道されないと思い出しません。これをどのように伝え、対応し、人命を救えるか。全力を尽くす事を決意させられる大会でした。

シーディーエム
関口透様



理事長の阪神・淡路大震災についての生々しいお話がとてもリアルで心に残りました。また、団長の話が面白く、さすが芸人さんだと感心しました。人間は、きっかけがあれば変わるもんだと感じました。

シオン
大山和宏様



同じ志を持つ仲間が集う場は、そこにいて凍りついた気持ちになります。今回も様々な立場から震災に関するお話を聞き、多くの学びを得ることができました。

田口住宅設計室
田口寛英様



気が付けば、人生の半分近くを耐震事業に係わってきました。関谷先生のお話にもあったように、私達ですら日常の中で災害を忘れてしまうことがあります。だからこそ、年に一度の全国大会で再確認することの重要性を改めて感じました。

古木屋
立野弘憲様



私が生れた年は、阪神・淡路大震災が発生した年です。当時の震災の重大さを、年齢を重ねるにつれて改めて深く感じています。講演を通じて、将来起こり得る地震災害に備え、住宅の耐震性向上に向けた取り組みを続けていきたいと思います。

望月工務店
齋藤晶仁様



災害時の人間の心理変化や地方自治体のご苦労について、大変勉強になる全国大会でした。住宅の耐震補強の重要性を再認識し、当協会でも多くの方々に伝えていきたいと考えています。

ベターライフ
リフォーム協会
海瀬克紀様



地震から身を守るために耐震化を普及させる貴組合の素晴らしい取り組みや、災害を自分ごととして考え備える気持ちを風化させてはいけないと気づかされる講演会でした。これからも耐震と防災を組み合わせたいセミナーや講演会を楽しみにしています。

防災教育普及協会
小野裕子様



講演から過去の震災の教訓・住まい手の命を守る「耐震」の大切さについて、年初に気持ちを新たにすることができました。有意義な会に参加させていただきありがとうございます！

YKKAP
(性能向上リノベの会)
大浦律子様



4号特例縮小

東京

国土交通省住宅局の藤原様に、「4号特例縮小」によるリフォームや増改築への影響についてご講演いただきました。質疑応答では、「無筋基礎で確認申請が必要な場合、有筋化が必須か?」や「減築時に確認申請が必要か?」など予定時間を超え途中で打ち切るほど多くの質問が上がり、関心の高さが感じられました。



▲東京



▲国土交通省 藤原健一様

耐震ノウハウ・事例

大阪 新潟

今年は能登半島地震の影響で耐震に関する問い合わせが増加しており、活発な意見交換が行われました。大阪会場と新潟会場では、事前に事務局の田中と家富が組合員にヒアリングした事例を共有し、他の組合員の活動状況を知る機会となりました。横のつながりを深め、耐震化の重要性が感じられました。



▲大阪

▶内山ホームの内山勇人社長に自治体や企業と連携した取り組みをお話しいただきました



▲新潟

リフォーム市場・リノベーション・性能向上

福岡 福島 長野

▶サンプロ 青柳弘昭社長



▶福岡



▶リフォーム産業新聞社 取締役報道部長 福田善紀様



▶長野



▲福島

長野会場では、サンプロの青柳社長が創業から現在に至るまでの事業構築の想いや理念について語られました。参加者からは「他では聞けない貴重なお話だった」といった感想が寄せられ、多くの関心を集めていました。また、福岡会場と福島会場では、リフォーム産業新聞社の福田様が最新のリフォーム市場動向や成功事例について解説を行い、参加者は多くの事業ヒントを得る機会となりました。リノベーションや空き家の活用を進めるうえで、耐震は大前提となる工事であることやこれからは益々省エネ・断熱が欠かせないことを再認識しました。

メーカー賛助会員・提携企業様にもご参加いただきました

- iYell(株)
- 日本住宅保証検査機構(JIO)
- TOPPAN(株)
- (株)ドローン・フロンティア
- (株)ハイホー
- (株)リブ・コンサルティング



▶熊本会場では「ぼうさいこくたい」開催に合わせて開催しました。

▶大阪会場の翌日はゴルフコンペも開催! 来年は皆様ぜひご参加ください!



▲東京

懇親会ではリラックスした雰囲気の中で会話が弾みました!



〔特集〕新たな学びとつながりを実感

全国 組合員 交流会 2024

誌上レポート

文：伊藤健三

のべ100人の方々に
ご参加いただきました!

▼2024年9月、熊本での開催を皮切りに、全国7会場で開催された「全国組合員交流会」を実施いたしました。今年は新たな試みとして、地域ごとに異なるプログラムをご用意しました。

▼耐震に関しては、組合員の皆様の取り組み状況や成功事例を共有する場となり、多くの学びを得る機会となりました。また、組合員や事務局からの発表だけでなく、外部講師をお招きする機会も設けました。国土交通省の藤原様には、「4号特例縮小」に関する最新情報をご講演いただき、時間が足りないほど多くのご質問にお答えいただきました。

▼本特集では、各地域の特色が光った交流会の様相をレポートいたします。



▲小野理事長



▲関事務局長



▼西日本担当 田中

▲東日本担当 家富

全国7会場で開催!

時間 14:00~18:30頃
前半:情報交換会 後半:懇親会
※熊本を除く

10月29日(火)

長野(松本)

リノベ・性能向上・耐震

11月19日(火)

新潟(新潟)

耐震ノウハウ・事例

11月5日(火)

福島(福島)

リフォーム市場・成功事例・耐震

12月3日(火)

東京(東京)

4号特例縮小・耐震

11月29日(金)

福岡(博多)

リフォーム市場・成功事例・耐震

11月26日(火)

大阪(大阪)

耐震ノウハウ・事例

10月18日(金)

熊本(熊本)

ぼうさいこくたい 2024in熊本

今年も全国各地で開催します!

2025年の会場で皆様とお会いできるのを心よりお待ちしております。

社員がもっと活躍できる 人事基礎講座

人事は会社の根幹です

はじめまして、業務支援(株)の石原直之と申します。私は平成元年新卒でリフォーム業界にデビューし、33年この業界にお世話になりました。この度そこで経験させていただいた事を、中小リフォーム会社の経営業務をサポートする業務支援の視点で、お話しさせていただきます機会を頂きました。日夜現場で奮闘される経営層の皆様のお役にたてましたら幸いです。よろしくお願いたします。

中小工務店、リフォーム店を取巻く環境は本年もより厳しくなりそうです。その中でも、会社の

根幹である人事の課題に悩まれる経営層の方も多いと思います。中小工務店、リフォーム会社の経営者、幹部の皆さんに知っておいただきたい、社員がもっと活躍できる会社にしていくための人事に関する基礎的な知識や事例をお伝えしてまいります。

人事は三つのテーマで考える

仕事柄経営、幹部層の方から人事に関するお悩みはよく伺います。「採用が出来ない」「社員が育たない」「離職が多い」などが多く聞かれます。またこれらの事柄全てが自社の問題だという方も結構多いです。

一口に人事と幅ひろく考えるのではなく「採用」「育成」「評価」と三つのテーマ分けると考えやすくなります。皆さんの会社で抱えている人事の問題はこの三つのうちのテーマに当てはまるでしょうか？

この講座ではこの3つのテーマごとに知っておくと良い人事に関する基本知識と、工務店、リフォーム会社で実践的に行動できるような、私の経験したことや他社の成功事例をお伝えしてまいります。一緒に、社員の皆さんがもっと活躍できる会社に行きましょう！

プロフィール



石原直之

1989年に新卒でホームイング(現ミサワリフォーム)に入社。1992年ホームテック(東京都、売上65億)創立に参加。取締役として営業、マーケティング、新規事業部門長を歴任。2020年より中小リフォーム会社の経営者の業務をサポートする業務支援株式会社を設立し現在にいたる。日本住宅リフォーム産業協会(ジェルコ)理事、事業開発統括委員長も務める。

業務支援株式会社 E-mail ishihara@g40.biz

第1回 中小工務店、 リフォーム会社の 人事とは？

人事の問題は「採用」「育成」「評価」 三つのテーマに分解して考える

それぞれの項目ごとに対策は変わってくる

シ道

資格は武器になる

視野や知識を広げ、
お客様への提案に役立つ
資格をご紹介します。

▼整理収納アドバイザーとは、片付かない原因や問題点を探り、物との関わり方を見直すことで暮らしを豊かにする、いわば「片付けのプロ」です。整理収納の基礎を習得し、身の回りで活用できる2級、周囲の人にアドバイスをできる準1級、プロの整理収納アドバイザーとして活躍できる1級までがあります。収納を考えたリフォーム設計、リフォームのお客様へのプラスアルファの提案にも活用できます。

第12回 整理収納アドバイザー

ポイント 整理収納のアドバイスを リフォーム提案に プラスできる

- ▶ 受験資格：2級——なし ※日本語が理解できる方
準1級—2級認定者および協会指定の資格取得者
1級——準1級認定講座(1級予備講座)受講修了者
- ▶ 資格取得費用：2級——24,700円(税込)
準1級—36,300円(税込) ※早割32,670円(税込)
1級——HPに詳細
- ▶ 試験月・形式：随時
- ▶ 管理団体：特定非営利活動法人 ハウスキーピング協会
<https://housekeeping.or.jp/>



News & Topics

国土交通省・経済産業省・環境省連携「子育てグリーン住宅支援事業」を創設

2025年度の「子育てグリーン住宅支援事業」が創設されました。子育て世帯や若年夫婦世帯を中心に、省エネ性能を有する新築住宅の取得や、既存住宅の省エネリフォームを支援する制度です。

2024年度の「子育てエコホーム支援事業」と比較すると、リフォームの対象工事はほぼ同一ですが、必須工事要件が変更され、リフォームの最大補助額は60万円/戸となります。お客様に案内できるように確認しましょう。

「子育てグリーン住宅支援事業」を創設します

https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001249.html



リフォームの補助対象工事

既存住宅^{※12}のリフォーム^{※13}

メニュー	補助要件	補助額 ^{※14}
Sタイプ	必須工事3種の全てを実施	上限:60万円/戸
Aタイプ	必須工事3種のうち、いずれか2種を実施	上限:40万円/戸

補助対象工事	必須工事 ^{※15}	①開口部の断熱改修、②躯体の断熱改修、③エコ住宅設備の設置
付帯工事 ^{※16}	子育て対応改修、バリアフリー改修等	

※12 賃貸住宅や、買取再販事業者が扱う住宅も対象に含まれる。
 ※13 「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業」(環境省)、「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」(経済産業省)及び「既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業」(経済産業省)【以下「連携事業」という。】とのワンストップ創設を実施し、併せて実施することが可能。
 ※14 補助額はリフォーム工事の内容に応じて定める額を合算した額。
 ※15 ①、②については、ZEH水準に相当する省エネ性能以上の改修工事に限る。
 ※16 補助対象となるのは「必須工事」を行う場合に限る。なお、この場合、連携事業のうち、環境省事業は必須工事①、経済産業省事業は必須工事③として扱う。



孫正義氏の弟による
全世代に向けた教育の書

Book

『冒険の書 AI時代のアンラーニング』
今号の理事長オススメはこの一冊！



ビジネス書のコーナーにあった本
ですから、当然、起業(冒険)と成功
に関する本だと思いい、手に取りまし
た。ところがさにあらず、この本は
子供から大人までに対する「教育の
書」でした。
著者は孫正義氏の弟。イメージ
は、天下を取った秀吉の弟の秀長
(優秀さでは、秀吉より上だったと
言われている)で、自らもたくさん
の事業を成功させた起業家です。
その彼が考える教育論を400
年前に書かれた世界の古書からは
じめ、論理的・体系的にまとめ上げ、
子供を含めた全世代の人間に語り
かけます。この本に徹底しているの
は、現代に常識として捉えられてい
るあらゆる事象を盲目的に受け入
れるのではなく、自ら問い、考え、
自分なりの答えを模索して生きよ
う!という提案です。ちなみにサブ

タイトルにある「アンラーニング」
とは、「これまでに学んだ常識や、こ
れまでに出来上がった思い込みな
どを捨て去り、その上で新しく全て
を学び直す姿勢」をいうそうです。
珠玉の言葉や文節が多く心を打
ちますが、その中の一節で、「私たち
は、検索サイトやSNSのアルゴリ
ズムによって、自分が見たい情報し
か見えない「フィルターバブル」と
呼ばれる閉じた世界の中で過ごし
ている」という著述は、使う側は全
く意識していないが、提供する側は
当たり前としているその根本的な
「情報格差」が厳然と存在するネッ
ト時代の怖さを痛感させられます。
昭和中期生まれの私としては、
「昔は良かった」などと単純陳腐な
見解を述べるつもりは毛頭ありま
せんが、今の方が当時より数段、生
きづらい世の中になっている事だけ
は認識せざるを得ない、今日この頃
です。
「若者よーネットの世界で他人の
言動を気にして時間を無駄にする
より、もっと自分自身に興味を持
て!」と、言いたいですね。

149
冊目
『冒険の書
AI時代のアンラーニング』
著者/孫 泰蔵
発行/日経BP
価格/1,600円(税別)

事務局通信

●編集後記●
第27回全国大会を開催いたしました。ご参集いただきありがとうございます。当日の様子は、特集の報告レポートの他、今回初の試みとして大会・賀詞交歓会の様子を動画撮影したものを組合員専用ホームページに掲載予定です。会場の雰囲気を感じていただければ幸いです。(渥美)

2025年耐震技術認定者講習会について
以下の通りの日程で開催します。各日程が近くなりましたら木耐協ホームページ・メールでご案内します。

期	受講期間	申込開始日	申込締切日	更新対象(有効期限が以下の方)
第1期	2月6日(木)～3月13日(木)	2月4日(火)	3月3日(月)	2025年3月31日～2026年2月28日
第2期	5月8日(木)～6月12日(木)	5月7日(水)	6月2日(月)	2025年6月30日～2026年5月31日
第3期	8月7日(木)～9月11日(木)	8月5日(火)	9月1日(月)	2025年9月30日～2026年8月31日
第4期	11月6日(木)～12月11日(木)	11月5日(水)	12月1日(月)	2025年12月31日～2026年11月30日

対面	日程	申込開始日	申込締切日	更新対象(有効期限が以下の方)
東京会場	7月4日(金)	5月7日(水)	6月16日(月)	2025年7月31日～2026年6月30日
大阪会場	7月11日(金)	5月7日(水)	6月23日(月)	

消費者向けオンラインセミナーの日程
年4回で、すべて10時～12時の開催を予定しています。テーマ・講師が決まり次第ご案内いたします。貴社のイベント等にぜひご活用ください。

1 4月12日(土)	2 6月21日(土)	3 9月13日(土)	4 10月11日(土)
------------	------------	------------	-------------

オンラインセミナー URL <https://www.mokutaikyo.com/bousai/>

発行 ● 国土交通大臣認可法人 **日本木造住宅耐震補強事業者協同組合**
 発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子
 所在 ● 東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

木耐協組合員様の不動産 × 建築売上UPのご提案!

不動産 × リノベーション 新たな売上に 変えませんか?

過去リフォーム顧客だけでなく耐震診断だけで終わっている顧客の
不動産に関する問題解決から新たな売り上げを作ることができます



“集客”も “顧客フォロー”もお任せください!

リフォーム事業者様が抱える不動産の問題を解決します!

まずは資料請求を
<https://www.self-in.biz/demand/>



リノビアル 神介
これからの住まい購入の新基準
リノビアル神介株式会社
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル38階

TEL.03-3346-4329
<https://www.self-in.biz/>



東京都主催の

東京都

耐震フォーラムで

講演いたしました!



開催概要

日時 令和6年12月10日(火)
13時30分～16時00分
会場 都民ホール(都議会議事堂1階)
参加者数 約60名
※アーカイブ視聴可能です

https://www.taishin.metro.tokyo.lg.jp/tokyo/event_2024.html



▶東京都では、都全体の耐震化を進めて強靱な街を作るため、「耐震化推進都民会議」を平成20年に立ち上げており、木耐協も会議に参加しています。この都民会議では毎年9月～翌1月を耐震キャンペーン期間とし、12月にはその一環で「耐震フォーラム」を開催。今年のフォーラムは木耐協が全面協力いたしました。

主催者挨拶

東京都都市整備局市街地建築部
耐震化推進担当部長

谷井 隆氏



▶首都直下地震がいつ発生しても不思議ではない状況の中、まずは自助である自宅の耐震性向上が必要であり、そこに対しては東京都も様々な形でサポートをしていく。本日のフォーラムが、耐震診断と補強を考えるきっかけになる事を願っている。とご挨拶を頂きました。

事例紹介

木造戸建て住宅の耐震改修工事

太豊建設株式会社 代表取締役

岡井 徹博氏



▶東京都品川区で活動される、木耐協理事でもある岡井社長。「わが町は、わが社が守る!」という決意を込めたタイトルで、木造住宅密集地域のエリアにおける同社の施工事例をご紹介いただくと同時に、防災訓練等を通して地域全体の安全を一緒に作り上げていく事例もお話いただきました。

基調講演

いつ来るか分からない 首都直下地震に備えて 必ず起きる地震に備えよう ～耐震診断と補強の話～



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合
事務局長 関 励介

▶冒頭、違う地震で同じように倒壊した写真をお見せし、耐震化に終わりが無い事を伝えました。そして、地震被害と建築基準の変遷、具体的な耐震診断と結果報告書の見方、補強方法のあれこれなどをお伝えしました。

質疑コーナー

▶来場者からの質問も多く、「耐震シェルターはどうか」「リフォーム瑕疵保険について知りたい」「自身も設計事務所だが、区の境を超えて連携できると良い」など、閉会ギリギリまで質疑が繰り返されました。

[東京都のホームページで
ご覧いただけますので
ぜひアーカイブをご覧ください](#)

